広告

今、子宮頸がんは自分で予防する時代です。

20～30代の女性に急増している子宮頸がん。
日本の発症数は毎年、約1万5000人にのぼり、約3500人が死亡しています。※1
子宮頸がんは検診とワクチン接種で予防できます。
検診はがんだけでなく、前がん病変を見つけられます。
国と各自治体が検診とワクチン接種を推奨している今、
その大切さを改めて認識し、検診とワクチン接種を行いましょう。

※1 地域がん登録全国推計によるがん罹患データおよび厚生労働省死亡統計より推計

中学1年生から高校1年生は、ワクチンの公費助成※2を受けられます。

9月末までに初回接種を！

※2 公費助成の対象年齢は各自治体によって異なりますので、お住まいの自治体にご確認ください。

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議 URL：www.cczeropro.jp FAX：03-5565-4914

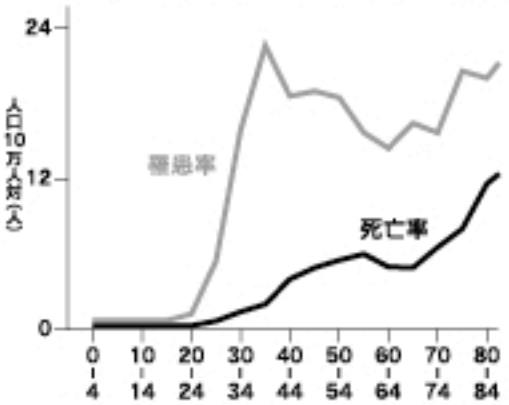
2008年11月発足。医師、専門家、患者支援団体、日本対がん協会などが専門の枠を超えて、
精度の高い検診とワクチン接種の普及をめざし、社会への提言や啓発活動を行っている。

議長 野田起一郎
近畿大学前学長

実行委員長 今野 良
自治医科大学附属さいたま医療センター産婦人科教授

委員 宮城悦子
横浜市立大学附属病院化学療法センター長

子宮頸がんの罹患率と死亡率（日本人女性）



罹患率：2001年データ、死亡率：2005年データ
国立がんセンターがん対策情報センター
厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略研究事業
がん罹患・死亡動向の無難応答の研究
平成18年度 総括・分担研究報告書（全国研究者 松枝江良彦）、2007年4月公開

予防できる唯一のがん。ワクチンと検診の機会を逃さないで

野田　これまで30年以上、がんの治療と予防に携わってきました。人体はたくさんのがんを発症しますが、現時点では子宮頸がんに関してのみ、極めて高い確率で予防することができます。従来から実施してきた検診と、2009年末から一般に使えるようになったワクチンのおかげです。世界では既に、子宮頸がんは完全に征圧できるがんだと認識されています。しかし日本国内に目を向けると、この認識は一般に浸透していません。いかに多くの女性に検診とワクチン接種を受けてもらうか。私たちがこれから考えていくべき課題です。

今野　他のがんに比べると、子宮頸がんは既に新しい時代に入ったと、みなさんに知っていただきたいです。研究を積み重ねた結果、子宮頸がんを予防できるワクチンが開発され、一般に提供できるまでになりました。これはすばらしいことです。

宮城　ワクチンを接種したら検診も忘れずに。子宮頸がんの検診受診率は、世界の先進国が60％以上であるのに対し、日本は20％台です。他の先進国同様、多くの女性が検診を受けるようになって欲しいと思います。

ワクチンは10代から。大人の女性にも効果的

今野　ワクチン接種と検診で、なぜ子宮頸がんが予防できるのか。その理由を理解していただければ、子宮頸がん征圧に向けて一歩前進できるのではないでしょうか。子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）というごくありふれたウイルスの感染が原因で発症します。HPV感染は、常識的な社会生活を送っている方であれば、誰にでも起こりうる。実際、女性の約80％が、HPVに感染するといわれています。別個は持続感染し、前がん病変から、がんになってしまうことです。検診を受ければ、がんだけではなく、がんになるかもしれない前がん病変（異形成）を見つけることができます。一方でワクチンは、新たな感染を予防するためにあります。

野田　僕の経験から言うと、国民の健康保持を重視する政治の姿勢も大切です。検診無料クーポンの配布が始まったのは、意義のある効果的なことでした。

今野　確かに無料クーポンのおかげで、子宮頸がんの検診受診率が乳がんと並び、3割を超えました。

宮城　無料クーポンが配布される20、25、30、35、40歳以外の女性でも、安価に受診できます。検診自体もあっという間に終わります。

国がワクチンを推奨。安心して接種を

今野　多くの先進国が国策として子宮頸がんの発症率低減を目指し、HPVワクチンの承認と、公費助成による子どもへの接種を実施しています。ワクチンは子どもたちの将来を守り、幸せをもたらす道具なのです。

野田　日本でも2010年度、2011年度と、中1から高1の女子に対し、ワクチン接種に公費助成が行われています。国がワクチンを推奨しているのです。

今野　日本医師会、日本産科婦人科学会、日本婦人科腫瘍学会、日本産婦人科医会、日本小児科学会など、多くの専門家団体も推奨しています。子宮頸がん予防ワクチンということで、特別なワクチンと考えられがちですが、基本的には他のワクチンと変わるところはありません。思春期の多感な女子への接種なので、緊張のあまりドキドキして失神する方もいますが、10万人あたり3人程度の頻度です。

宮城　接種自体も肩に注射をし、30分ほど安静にしてもらうだけ。事前に特別な検査も必要なく、接種後にとりわけ注意することもありません。ただし、筋肉痛が2～3日ありますので、クラブ活動等はご注意を。

中1から高1が公費助成対象者。初回は9月末までに

宮城　ワクチンの公費助成に話を戻すと、対象者は中1から高1の女子です。ワクチンの費用対効果の最もよい年代です。今年の3月に生じたワクチンの供給不足の影響で、自治体によっては、昨年度高1だった高2の女子も対象にしている場合があります。

今野　接種は十分な抗体を作るために3回必要です。また、事情によって接種間隔が延びてしまっても、ワクチンの効果には問題がありません。一方、6ヶ月よりも短い間隔で接種すると十分な効果がでません。すべてを公費助成で受けるなら、今年9月末までに初回接種が終わっていなければなりません。

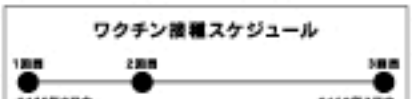
宮城　ワクチンは、産婦人科だけでなく、小児科や内科でも受けられます。ただ、事前の予約が必要になる場合もあります。まずは、お住まいの自治体や病院などに問い合わせてみることをおすすめします。お子さんにあった医療機関を探し、早めに一回目の接種を受けていただきたいです。大人になったら検診も定期的に行えば、子宮頸がんは確実に予防できます。

知らないのが一番怖い。女性の絆で子宮頸がんゼロに

野田　子宮頸がんは、子どもを産みたかった女性が子どもを産めなくなるという個人の問題だけではなく、労働力や医療費の損失など、国としてもいろいろな問題があります。ワクチン接種は、公費助成対象者以外は自己負担となりますが、個人と家族、国全体の幸せに繋がる大切なことです。がん検診とワクチンというすばらしい予防の方法が日本でも使えるようになりました。最後は女性のみなさんにかかっています。世界一になったなでしこジャパンは、日本女性のすばらしさを世界に見せてくれました。日本女性の生涯を通じての幸せを子宮頸がんの完全な予防から実現して欲しいです。

宮城　姉妹や友だち、知人とみなで声をかけ合って、検診やワクチン接種を受ける。そんな女性たちの輪が、絆を通じて広がっていくことを期待しています。

ワクチン接種スケジュール



1回目から3回目の接種まで、6ヶ月以上の間隔を開けます。
事情により接種間隔が延びても効果は変わりません。
中学1年生から高校1年生の女子が公費助成を受ける場合、
1回目の接種は9月末、3回目の接種は3月末までに行う必要があります。
詳しくはお住まいの各自治体、窓口、医療機関までお問い合わせ下さい。

私たちはHPVワクチンの接種と検診を推奨します。

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議
議長 野田起一郎

公益社団法人日本産科婦人科学会
理事長 小西郁生

特定非営利活動法人日本婦人科腫瘍学会
理事長 宇田川康博

公益社団法人日本産婦人科医会
会長 寺尾俊彦